

看護部

■ スタッフ

部長	氏名	門脇 文子
副部長	氏名	江藤 由美 (教育)
		森 多佳美 (総務)
		小野 幸子 (業務)

看護職員数	常勤	517名
	非常勤	133名
	非常勤看護助手	81名

(H27年3月現在)

■ 部門の特色

「安全と満足を保障する質の高い看護を提供する」
 当院は三重県下唯一の特定機能病院として高度先進医療に貢献すること、さらに臨床研究・人材育成という使命があります。その使命を果たすために看護部は、患者・家族に対して安全と満足を保障する質の高い看護を提供することを基本理念としています。私たちは、充実した教育体制のもと、専門職として倫理的視点を持ち、自己教育力を備えた看護師を育成したいと考えております。そして、看護職員一人ひとりが認められ、評価される働きがいのある職場作りを目指します。

1. 看護部基本方針

- 1) 高度先進医療を担う病院として、安全で質の高い看護を提供する
- 2) 患者一人ひとりの自律性を尊重し、満足できる看護を提供する
- 3) 自律した看護職として他職種と協働し、効果的なチーム医療を推進する
- 4) 地域との連携・交流を深め、継続した看護を提供する
- 5) 看護職員のキャリア発達を支援し、働きがいのある職場風土を醸成する

2. 看護部活動方針

- 1) 看護の実践力を高め、医療の質向上に貢献する
- 2) 卒前卒後の継続教育を充実する
- 3) 看護職員の職場・職務満足の向上をはかり、離職防止につなげる
- 4) 人材確保の推進をはかる
- 5) 病院経営に貢献する

■ 活動内容

活動方針に基づいて 1) については 看護職員の知識技術向上の機会を推進、看護業務の改善・標準化の推進、安全な看護実践と適切な評価、他職種との連携とチーム医療の推進 2) については臨地実習・他施設研修の受け入れの拡充と、教育・指導への積極的参加、看護学科、看護学校の教員と良好な関係を築き連携強化をはかり、卒後教育のプログラム強化をはかる 3) については外部講師による調査フォローを引き続き行い、部署における組織分析・目標管理を適切に行う また職員との面談、相談を行い離職率低下につなげる 4) については看護職員や補助業務を行う職種に対しても募集活動を積極的に行う、また広報活動を推進していく 5) については効率的な病床管理・運営を実践し稼働率を上げていくこと、7対1看護体制、平均夜勤時間、医療看護必要度を維持すること、診療報酬改定内容、DPCなど経営に必要な知識を習得する。等を行いました。

■ 活動体制

看護部の組織として、看護部長(1名) 副看護部長(3名) 専門・認定看護師(15名) 病棟部門師長(15名) 外来・中央部門師長(6名) 看護の質管理部門師長(6名) また各病棟、外来・中央部門等副師長(45名)で管理業務等を行い、それぞれの部門、部署の看護スタッフと共に看護ケアの提供を行っています。師長・副師長は看護部諮問委員会に所属し活動を行っています。(表1)

■ 活動実績

看護要員の確保について、募集・広報活動として県内外への学校訪問や、就職説明会の開催、またインターンシップによって看護体験を行い、当院への関心を高めてもらうという企画なども行っています。確保状況については、表2参照。
 また、看護部教育活動として、クリニカルラダー院内認定、静脈注射などの研修を行い、それぞれ認定者、合格者が誕生しました。(表3)
 看護外来では、フットケア外来、リンパ浮腫外来、ストマ外来などを認定看護師らが担当し、成果を上げています。(表4) また当院在職中で大学院修士課程への進学者・・・7名、学会・研究会・地方会での発表・・・34件、論文発表については10件の実績を上げました。

【表1】

委員会	業務内容・H26年度 活動方針
人材育成委員会	看護職員の教育企画運営 1 クリニカルラダー認定手続き 2 看護職員研修の評価
静脈注射委員会	静脈注射に関すること 1 静脈注射に関する教育研修・評価 2 静脈注射の運用整備
看護記録委員会	看護記録に関すること 1 看護記録の教育と整備について 2 看護記録の監査について
医療情報委員会	看護情報システムの運用に関すること 1 医療情報システムの運用・評価 2 クリニカルパスの運用整備 3 部署の看護情報リンクナースの教育
看護業務委員会	看護業務に関すること 1 クラークの業務評価と運用 2 看護助手業務の標準化 3 接遇教育 4 ユニフォームに関すること
看護必要度委員会	看護必要度に関すること 1 看護必要度の教育 2 看護必要度の評価
災害対策委員会	災害対策に関すること 1 地震・火災等の災害時対策の検討と実施 1) 看護職員の災害・防災管理研修の運営 2) 各部署災害時対策の検討
人材確保委員会	看護職員の雇用・離職防止対策に関すること 1 看護師・助産師の雇用促進 2 看護部広報活動
看護体制委員会	看護体制に関すること 1 看護体制についての検討
WLB委員会	WLBに関すること 1 職員満足度調査結果の検討と 課題取り組み

【表2】

看護要員確保状況

年度	現在数	新採用	助手	離職率
26年度	650	70	81	7.5%
25年度	621	75	77	8.7%

【表3】

	人数
クリニカルラダーレベルⅠ認定者数	64
クリニカルラダーレベルⅡ認定者数	16
クリニカルラダーレベルⅢ認定者数	2
皮膚排泄ケア 初級認定者	17
皮膚排泄ケア 中級認定者	10
糖尿病看護 初級認定者	7
がん看護 初級認定者	5
がん看護 中級認定者	4
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2ab合格者	163
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2c合格者	168
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2d合格者	165

【表4】

看護外来患者数

外来種別	件数
フットケア外来	143
リンパ浮腫外来	770
ストマ外来	874

■ 今後の展望

今後は、引き続き看護職員確保対策の推進と、育成・定着の強化を行っていきたいと考えます。定着率を上げることにより、経験豊かな職員が増え、より質の高い看護を提供できることに繋がります。職員ひとりひとりが認められ評価されること、そして働きがいのある職場風土を作り上げることを目指していきます。職員が元気に働き続けることが、医療サービス向上への重要な鍵と考え、課題として取り組んでいきたいと思っております。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)